

**高次脳機能障害者  
地域支援ハンドブック  
(改訂第六版)**



東京都

## はじめに

平成18年に「高次脳機能障害支援普及事業」が障害者自立支援法（現在は、障害者総合支援法）の地域生活支援事業として位置づけられ、東京都においては、東京都心身障害者福祉センターを支援拠点機関として、相談支援や普及啓発、人材育成に取り組むとともに、高次脳機能障害のある方が身近な地域で、切れ目のない支援を受けられるための相談支援体制や機関連携などのネットワークの構築を進めてきました。

都内各地域においては、平成19年度に2区での実施からスタートした「区市町村高次脳機能障害者支援促進事業」が、令和4年度現在、45区市町で実施するまでに至っており、身近な地域における相談支援体制も着実に進んできています。また、二次保健医療圏における高次脳機能障害のリハビリテーションの中核医療機関による「専門的リハビリテーションの充実事業」については、平成27年度から都内全12圏域（島しょを除く。）で実施されており、地域における医療・福祉・介護・就労等の連携構築が進められております。

「高次脳機能障害者地域支援ハンドブック（以下「ハンドブック」という。）」は、平成18年に初版を発行し、その後、平成23年に高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会の地域支援ハンドブック改訂作業部会で、大幅に改訂作業を行いました。今回のハンドブック（改訂第六版）は、高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会座長の渡邊修先生をはじめとする多くの方々にご協力をいただき、令和3年3月に発行したハンドブック（改訂第五版）の内容を改訂したものとなっております。

このハンドブック（改訂第六版）を高次脳機能障害に関わる多くの方々に活用していただくことで、地域の支援体制のさらなる充実が図られ、当事者や家族の安定や社会参加への一助となれば幸いです。

令和5年3月

# 目次

はじめに

第1章 高次脳機能障害者の相談支援の基本	1
1 相談場面で配慮すること	
2 情報収集のポイント	
◆ 高次脳機能障害のある方の支援の流れ	
第2章 高次脳機能障害の基礎知識	7
1 高次脳機能障害とは	
2 主な原因疾患	
3 主な症状と対応のヒント	
【コラム】さまざまな高次脳機能障害に関する用語	
4 行政的な診断基準	
5 高次脳機能障害の診断	
【コラム】各種神経心理学的検査の概要	
◆ 高次脳機能障害の有無を考える手順について	
第3章 高次脳機能障害者の支援の流れ	24
I 高次脳機能障害者の支援について	
II 医療機関におけるリハビリテーション	
1 急性期の概要…疾患の治療とリハビリテーション	
2 回復期の概要…セルフケアの自立に向けたリハビリテーション	
3 生活期の概要…外来通院と医療・地域連携	
III 地域生活支援	
1 在宅生活を開始したときの高次脳機能障害者と家族	
2 在宅生活を安定させるための支援の基本	
3 支援機関が連携して支える	
4 地域生活支援における社会福祉制度活用の留意点	
5 社会参加に向けて	
◆ 環境を整える～記憶障害がある場合の例～	
IV 就労支援	
1 高次脳機能障害者の就労上の課題	
2 高次脳機能障害者の就労支援の特徴	
3 就労支援を進めるために～職業準備性について～	
4 就労支援の流れ	
5 様々な働き方・暮らし方	
【コラム】復学の支援について	

第4章	高次脳機能障害者の家族支援	47
	1 家族支援の必要性	
	2 当事者・家族会活動の支援	
	3 家族の体験	
第5章	高次脳機能障害者を地域で支える仕組み	57
	1 地域支援ネットワーク	
	2 区市町村での取組	
	3 二次保健医療圏での取組	
第6章	高次脳機能障害に関わる制度	62
	1 障害者手帳制度と高次脳機能障害	
	2 障害者総合支援法と高次脳機能障害	
	3 介護保険法と高次脳機能障害	
	4 児童福祉法と高次脳機能障害	
	5 医療費（病気やけがに対する給付）	
	6 休業補償	
	7 年金など	
	8 権利擁護	
	9 生活が困窮したとき	
	10 交通事故関係の各相談機関	
	◆ 高次脳機能障害者の制度利用確認シート	
第7章	高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業について	76
	1 経緯および概要	
	2 支援拠点機関としての東京都心身障害者福祉センターの取組	